

第14回 歴史地震史料研究会

2026年11月21日(土) 12:55~17:30 オンライン開催

◆研究発表会プログラム◆

13:00~14:00 口頭発表セッション1(熊本地震関連特別セッション)

- 齋藤友里恵 1619年元和熊本地震の考古学的検討
水野 嶺 九州の震動と阿蘇山噴火の歴史記録
松岡祐也 宝永二年阿蘇地震と豊後岡藩の被害状況

14:10~15:10 口頭発表セッション2

- 齋藤瑞穂・鈴木正博 弥生三陸-仙台平野地震津波研究3
—弥生時代中期の気候変動と土器型式の盛衰—
西尾和美 1325(正中2)年地震における越前国一宮気比社の被害史料の検討
片桐昭彦 越後国古志郡の専福寺「諸事見聞雑記」の地震記録

15:20~16:20 口頭発表セッション3

- 原 直史 1828年越後三条地震における桑名藩領・預所の被害と対応
矢田俊文 1833年天保美濃地震と名古屋
西山昭仁・石辺岳男・片桐昭彦 1833年天保庄内沖地震の地震像の再検討

16:30~17:30 口頭発表セッション4

- 原田和彦 善光寺地震の痕跡を探る
藤澤匡樹 安政南海地震による鳥取藩の武家屋敷等の被害について
—地震動と大風による複合被害の可能性を考える—
原田智也・石辺岳男・片桐昭彦 1964年新潟地震による
新潟県周辺域の被害記録に基づいた詳細震度分布

事前申込制によるZoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式で行います

参加申込: 〆切 11月18日(水)、下記URLまたはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/vMSG752Ho7uE6hdR7>

問い合わせ先

片桐昭彦(新潟大学人文学部, 災害・復興科学研究所兼任)

E-mail: katagiri@human.niigata-u.ac.jp



主催: 新潟大学災害・復興科学研究所「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火関連災害の解明のための史料
収集と解析」研究グループ ©文部科学省「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第3次)」の支援を受けている